

「震災後半年で当院スタッフの疲労もたまり、患者さんが満足できる診療体制をとることができなくなりつつあります。短時間、短期間でもいいので当院スタッフになっていただける方は、院長までご連絡ください」。少し略していますが、熊本地震後半年で、診察室に張り出した文章です。

当院に診療継続の危機がありました。半年後は疲れがたまる時期。スタッフの病気が長引くなど、さまざまな要因でスタッフが半減してしまっただけです。福岡まで求人を出しましたが、補充できませんでした。医療のプロとして、患者さんにこういうことを働

当院縮小の危機です

一筆



小児科医

駒木 智

2017.5.18

きかけるのはとても恥ずかしい。ただ全く診療が回らなくなってきたので、この文章を張らせてもらったのです。

それまで何をしても全然人が集まらなかったため、正直期待はしておらず、これで日曜診療をやめる言い訳になるかなあ、と思っていました。

ところがです！うちの患者さんの親御さんを中心に、複数の人がその文章を見て「先生、私働くよ」と言って現在も当院に来てくれています。とても感激したのですが、

では私が何でこんなにうれしかったのかというと、当院が困った時助けてくれたのは、市民の皆さまであつたということ。町医者が地域医療のために、と言うのは簡単ですが、こういう非常時にこそ病院が地域に開かれているかどうか分かりますから。

当クリニックは市民の方々のセンスのおかげで成り立っています。それで現在もなんとか日曜診療も継続できているのです。本当にありがたいと思っています。